

ともに輝く情報誌

ウィルプラス

WILL PLUS

2025
No. **107**

特集 あいち国際女性映画祭2025

(寄稿) 木全純治氏 (映画祭ディレクター・シネマスコーレ代表取締役)



団体紹介

一般社団法人 大学女性協会 (JAUW) 愛知支部
..... 4

ジェンダー・ギャップ指数2025

..... 4

女性の活躍促進

わが社の女性管理職紹介

株式会社アドプランナー

..... 5

情報ライブラリー Book Cafe

今回のおすすめメニュー

「映画と生きる女性たち」

..... 6

ウィルおじさん 7

愛知県女性総合センター

(ウィルあいち) のご案内 7

CONTENTS

編集・発行／

 公益財団法人 あいち男女共同参画財団



あいち国際女性映画祭2025

当映画祭ディレクターの木全純治さんに、今年の見どころを語っていただきました。



シネマスコーレ代表取締役

映画祭ディレクター 木全純治氏

★今年の見どころ

1996年にスタートした本映画祭は、おかげさまで今年30回目を迎えます。女性監督作品や女性に着目した作品に特化した国内唯一の国際女性映画祭として、これまで数々の名作を上映してきました。記念すべき節目を迎えた今回は、世界初公開2作品、日本初公開5作品を含めた計42作品を上映します。

また、歴史あるクレティユ国際女性映画祭(フランス)・ソウル国際女性映画祭(韓国)と連携し、30回記念特別企画をお届けします。女性監督の歴史と現在地、そして未来への展望に光を当てる本企画は、3つのプログラムで構成されます。

まずご紹介したいのは、「女性監督の先駆者たち」と題したプログラムです。フランス、韓国、日本における最初的女性監督 — アリス・ギイ、パク・ナムオク、坂根田鶴子 — に関する貴重な作品を上映します。上映作品は、『映画はアリスから始まった』(パメラ・B・グリーン監督)、『日本初的女性映画監督 坂根田鶴子を追って』(熊谷博子監督)、『開拓の花嫁』(坂根田鶴子監督)、『未亡人』(パク・ナムオク監督)の4作品です。上映後のトークイベントでは、先駆者たちが切り開いた道をたどり、その功績に迫ります。

続いて、現在活躍する新進女性監督にも注目します。クレティユとソウルの各映画祭で上映された作品の中から、日本初公開となる2作品をお届けします。

今年クレティユで観客賞を受賞した話題作『ウォーター・サーフィス』(ゼイネプ・キョプリュリュ監督)は、癒えぬ過去を抱え、対立する母娘の葛藤を描いたトルコ作品です。



©Periferi Film

『ウォーター・サーフィス』

もう一作は、昨年ソウルで上映された注目作『強くなるとき』(ナムグン・ソン監督)です。K-POPアイドルとしてのキャリアに挫折した若者3人の葛藤を描いた本作は、第25回全州国際映画祭で韓国コンペティショングランプリを含む3冠に輝きました。



『強くなるとき』

そして本企画の締めくくりとして、両映画祭の各ディレクターを迎え、国際シンポジウム「わたしたちの今」を開催します。日本からは、浜野佐知監督と当映画祭2025アンバサダーである三島有紀子監督が登壇し、女性監督や女性映画祭が紡いできた過去と現在、そして未来について語り合います。

記念すべき第30回を飾るにふさわしい歴史と発見に満ちた本企画にどうぞご期待ください。

もちろん、他にも見どころはたくさんあります。

国際芸術祭あいち2025との連携企画として、芸術監督のフル・アル・カシミさんの推薦により『ザ・ティーチャー』(ファラ・ナブルシ監督)を日本初上映します。パレスチナを舞台に、中東問題を取り扱った本作は、非常に完成度が高く強い衝撃を受けました。



©COCOON FILM / NATIVE LIBERTY PRODUCTION-2023-
ALL RIGHTS RESERVED 『ザ・ティーチャー』

「東京都と愛知県の連携・協力に関する協定」により、東京国際映画祭との提携企画も実現し、昨年、東京国際映画祭で最優秀女優賞を受賞した『トラフィック』（テオドラ・アナ・ミハイ監督）を愛知初上映します。さらに、当映画祭で今年上映される作品のうち1作品が、10月27日～11月5日に開催される東京国際映画祭でも上映される予定です。



2024© MINDSET PRODUCTIONS - LUNANIME - LES FILMS DU FLEUVE - BASTIDE FILMS - FILMGATE FILMS - FILM I VÄST - AVANPOST MEDIA - MOBRA FILMS. 『トラフィック』

オープニング作品『金子文子 何が私をこうさせたか』（浜野佐知監督）は、戦前の大逆罪事件に関わった金子文子の獄中の様子、無念な声を届ける力作です。



『金子文子 何が私をこうさせたか』

韓国作品『済州島四・三事件 ハラン』（ハ・ミョンミ監督）は、1948年に済州島で起きた無差別な武力鎮圧をテーマに、幼い娘を守る母親の強さを描いています。



©Whenever Studio 『済州島四・三事件 ハラン』

両作品は、歴史的な事件を背景に、時代に翻弄された女性たちがどう生きたかを描いています。歴史を知ると同時に、社会問題を提示する渾身の作品です。

国内の若手監督の作品からは、『長浜』（谷口未央監督）と『わたしの頭はいつもうるさい』（宮森玲実監督）の2本を上映します。近年、多くの若手監督が映画製作に取り組んでおり、一定レベルの作品を世に出せる環境が整ってきています。しかし、商業映画を継続的に製作できる監督はそう多くありません。今回の2作品はいずれも完成度が高い良作です。両監督にはぜひこれからも粘り強く壁を乗り越え、第一線で活躍してほしいと思います。

国際交流企画では、ウクライナ問題を扱った『永遠の故郷ウクライナを逃れて』（マチェク・ハメラ監督）を上映します。戦時下のウクライナの人々が置かれた状況をドキュメンタリーとして提示します。映画は過去の戦争を振り返ることに長けていますが、本作のように、戦争のさなかに映画を製作することは極めて難しいことです。上映後のシンポジウムでは、支援のあり方を考えます。ぜひご参加ください。

★今後に向けて

予算の削減により厳しい運営状況が続いていましたが、皆様の信頼を損なうことのないよう、社会派の視点とエンターテインメント性を兼ね備えた優れた作品をお届けすることに全力を尽くしてまいりました。その積み重ねとして本年は予算も増え、30年という歩みの中で培われたつながりにより、今回はさまざまな提携・連携企画にも恵まれました。多くの皆様からご協力を賜り心より感謝申し上げます。今後も女性監督のサポート体制をさらに充実させ、引き続き皆様に楽しんでいただける映画祭を続けてまいりますので、よろしくお願いいたします。

あいち国際女性映画祭2025 上映スケジュール

		10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00
9/11 (木)	ウィルあいち ウィルホール		1 金子文子 何が私をこうさせたか 10:00～12:10			2 津州島四・三事件 ハラン 13:50～16:00						
	ウィルあいち 大会議室		3 日々 福島のルンダカフェから 10:00～12:10			女性の活躍シンポジウム 14:00～15:00		4 長浜 16:50～18:30				
	ミッドランド スクエア シネマ									5 ザ・ティーチャー 18:30～20:30		
9/12 (金)	ウィルあいち ウィルホール		6 わたしの頭はいつもうるさい 10:00～11:20		7 ふたりの青い心線 13:00～14:50			8 永遠の故郷ウクライナを逃れて 16:10～17:40				
	ウィルあいち 大会議室		9 映画はアリスから始まった 10:00～11:50		10 日本初的女性映画監督 坂根田鶴子を通じて/開拓の花嫁 13:50～14:40		11 未亡人 16:00～17:20					
	ミッドランド スクエア シネマ									12 リー・ミラー 彼女の瞳が映す世界 18:30～20:30		
9/13 (土)	ウィルあいち ウィルホール		13 ウォーター・サーフィス 10:00～11:30		14 強くなるとき 13:10～14:50		国際シンポジウム 15:40～17:10					
	ウィルあいち 大会議室		15 サントーシュ 10:00～12:10		16 トラフィック 13:10～15:10		17 ラブ・ライズ 15:50～17:50					
	ミッドランド スクエア シネマ									18 津州島四・三事件 ハラン 18:20～20:30		
9/14 (日)	ウィルあいち ウィルホール		19 繕い裁つ人 10:00～11:50		20 長い散歩 13:30～15:50							
	ウィルあいち 大会議室		21 フィルム・コンペティション&授賞式 10:00～18:50									
	ミッドランド スクエア シネマ									22 ふたりの青い心線 18:30～20:20		
9/15 (月・祝)	ウィルあいち ウィルホール		23 きみの色 10:00～11:50		24 家出の決意 12:50～14:40							
	ウィルあいち 大会議室		25 苦悩のリスト/あの家は黒い 10:00～11:10									

トークイベント・シンポジウム

※開場は原則としてウィルあいちが20分前、ミッドランドスクエア シネマは10分前

チケットガイド

ウィルあいち上映作品 (1～4、6～11、13～17、19～21、23～25) のチケット料金・発売日・発売場所
(21)フィルム・コンペティション&授賞式チケットは全作品鑑賞可・作品上映時間の入退場可

前売 1,000円	7/13 ▶ 9/10	ウィルあいち(あいち国際女性映画祭事務局) 愛知芸術文化センタープレイガイド 今池ガスビルプレイガイド ローソンチケット(ローソン、ミニストップ、PC、モバイルで購入) URL https://l-tike.com/aiff/ ※店舗内Loppiで購入の際はLコード「40707」を入力すると便利です。 Boo-Wooチケット URL https://l-tike.com/bw-ticket/event/aiff/	TEL 052-962-2520 (チケットの販売は9/2(火)から) TEL 052-972-0430 TEL 052-733-8211 URL https://l-tike.com/aiff/	ローソンチケット Boo-Wooチケット
当日 1,300円	9/11 ▶ 9/15	ウィルあいち会場チケット売場 ローソンチケット(ローソン、ミニストップ、PC、モバイルで購入) URL、Lコード、QRコードは前売と同じ。 Boo-Wooチケット URL、QRコードは前売と同じ。 ※ローソンチケット、Boo-Wooチケットの販売期間は9/11(木)から各作品上映日の前日まで。 9/12(金)から9/15(月・祝)の上映作品が対象		

※ 国際芸術祭「あいち2025」のチケット又は半券を(1 DAYパス、フリーパスいずれも可)をご提示いただくと、1枚につき1回限り100円引きとなります。(ただしプレイガイド窓口及び9/2(火)からウィルあいち窓口のみ)
※ あいち国際女性映画祭2025のチケット又は半券を国際芸術祭の各会場にある直営チケット売場等でご提示の場合に限り、国際芸術祭「あいち2025」のチケット1枚につき1回限り100円引きとなります。

ミッドランドスクエア シネマ上映作品 (5、12、18、22) のチケット料金・発売日・発売場所 問合せ先 TEL052-962-2520

前売・ 当日とも 1,300円	7/13 ▶ 9/14	ミッドランドスクエア シネマ(シネマ1、シネマ2)の窓口 ミッドランドスクエア シネマチケット購入サイト URL http://www.midland-sq-cinema.jp 注)ミッドランドスクエア シネマ上映作品のチケットはウィルあいちでは購入できません。	ミッドランドスクエア シネマチケット購入サイト
-----------------------	-------------	---	----------------------------

会場案内：名古屋市中村区名駅四丁目7番1号 ミッドランドスクエア5階 最寄駅：JR・名鉄・近鉄・地下鉄「名古屋駅」

- ウィルあいち会場は自由席です。上映開始から20分経過後の入場はお断りします。ミッドランドスクエア シネマ会場は指定席です。上映開始後の入場はお断りします。その場合いずれの会場でも払戻しはいたしません。
- 障害者・子ども(3歳以上)・学生は前売・当日共600円です。
障害者(付き添いの方も1名まで同料金)・学生の方は、入場時に障害者手帳・生徒手帳・学生証等をご提示ください。

旅の愛知

<https://aichi-platform.com/>
映画祭とのコラボ企画はコチラ⇒



ウィルあいち会場案内

名古屋市中村区上り杉町1
◆交通案内
地下鉄名城線「名古屋駅」駅2番出口
東へ徒歩約10分
名鉄瀬戸線「東大手」駅
南へ徒歩約8分
基幹バス、名鉄バス「市役所」下車
東へ徒歩約10分
市バス幹名駅1「市政資料館南」下車
北へ徒歩約5分



ミッドランドスクエア シネマ会場案内

名古屋市中村区名駅4丁目7番1
ミッドランドスクエア5階
◆交通案内
JR・名鉄・近鉄・地下鉄「名古屋」駅から
地下街直結
サンロード 1・2・3・4番出口
ユニモール 3・5番出口

映画祭の
お問合せ

あいち国際女性映画祭事務局 電話：052-962-2520

時 間：9:00～17:00(映画祭開催中は20:30まで)

休業日：月曜日(祝日の場合は翌日も休業)・祝日 FAX：052-962-2477

映画祭ホームページ <https://www.aiff.com>





このコーナーでは、県内で活躍する団体にスポットを当て、その活動をご紹介します。
今回は、「一般社団法人 大学女性協会愛知支部」についてご紹介します。

❖ 一般社団法人 大学女性協会(JAUW)愛知支部 ❖

1. 設立の目的

大学女性協会(JAUW)は、1946年に創設された歴史あるNGOで、「女性の高等教育の向上」「男女共同参画社会の推進」「国際協力と世界平和の実現」を目的に活動しています。国際大学女性連盟(GWI)と連携しながら、奨学金の支給や女性リーダーの育成、社会課題への提言など、幅広い公益活動を展開しています。

本部は東京にあり、全国に22の支部を持ちます(2025年6月現在)。愛知支部もその一つとして、本部と連携しながら、奨学生の募集や講演会の開催、勉強会などを通じて地域に根ざした活動を行っています。

2. 活動紹介

JAUWの主な活動は以下のとおりです。

(1) 啓発・提言活動

社会の課題に焦点を当てたセミナーやシンポジウムを毎年開催し、その成果を報告書として発信。2024年には「ウェルビーイングと環境」をテーマに公開シンポジウムを実施し、2025年には「ユースの生きづらさ」に関する調査報告書を発表しました。

(2) 奨学金事業

大学院生や障がいのある学生、医学・薬学系専攻の学生などを対象に、複数の奨学金制度を設け、学業と研究を支援しています。また、若手女性科学者には「守田科学研究奨励賞」を贈呈しています。

(3) 国際支援とネットワーク

国連女性の地位委員会(CSW)やGWIなどの国際会議に若手を派遣し、国際的な視野を育む機会を提供。2024年にはインドで開催されたアジア大学女性連盟(UWAsia)の国際カンファレンスに参加し、研究発表も行いました。

(4) 愛知支部の取り組み

2024年にはJAUW全国総会を名古屋で主催し、講演会や

会議を開催。さらに、国連総会第三委員で政府代表代理顧問として会員によるステートメント発表や、名古屋国際センターでのジェンダーに関する公開講演会、地域の特別支援学校訪問など、地域と世界をつなぐ活動を積極的に行っています。



2024年5月 JAUW全国総会 於ホテルルブラ王山

3. 今後の課題と活動

今後もJAUWは、国内外のネットワークを活かしながら、次のような活動を予定しています。

- 2025年8月、大阪万博「平和と人権」ウィークにて、スイスパビリオンでの対話プログラム「政治における女性たち」を開催。
- 2025年9月には、ザンビア・ルサカでのGWI国際会議に参加し、国際的なアドボカシー活動に貢献。
- 2026年5月には、アジア大学女性連盟の議長国として国際会議を主催予定です。

JAUW愛知支部は、これからも「誰にとっても生きやすい社会」の実現を目指し、地域と世界をつなぐ架け橋として活動を続けていきます。

問合せ先 一般社団法人 大学女性協会

住所 〒160-0017 東京都新宿区左門11-6
パトリシア信濃町テラス101

電話 03-3358-2882

<https://www.jauw.org/aboutus/>



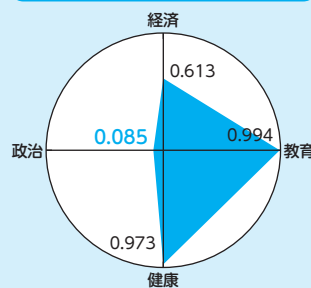
各国における男女格差を測るジェンダー・ギャップ指数(GGI)2025年の状況

順位	国名	GGI値	順位	国名	GGI値
1	アイスランド	0.926	62	ウクライナ	0.730
2	フィンランド	0.879	94	ルーマニア	0.697
3	ノルウェー	0.863	97	インドネシア	0.692
4	英国	0.838	101	韓国	0.687
9	ドイツ	0.803	103	中国	0.686
27	ベルギー	0.773	118	日本	0.666
35	フランス	0.765	131	インド	0.644
42	アメリカ	0.756	135	トルコ	0.633
45	ポーランド	0.750	145	イラン	0.583

(注) 4位以下は、「あいち国際女性映画祭2025」の招待作品制作国の順位を抽出。
出典: World Economic Forum "Global Gender Gap Report 2025" (2025.6.12)
(https://reports.weforum.org/docs/WEF_GGGR_2025.pdf) より財団が作成。

「世界経済フォーラム」が今年6月に発表した「ジェンダーギャップ指数」によると、日本は148か国のうち118位(昨年は146か国中118位)と、依然としてG7(主要7か国)では最下位に留まっています。女性閣僚の減少など、政治分野における男女格差の拡大がその大きな要因とみられます。

日本のジェンダー・ギャップ指数



出典: World Economic Forum
"Global Gender Gap Report 2025"
(2025.6.12) より財団が作成。

女性の活躍促進 わが社の女性管理職紹介

株式会社アドプランナー

■当社における女性登用の考え方

1982年に広告代理店として創業以来すべての社員の働きやすさ・やりがいを考え経営をしています。その中で女性特有のライフワークは、個人の課題として取り組むには限界があるため会社として様々な支援をしています。弊社の仕事に必要な能力に男女差はなく、あまり男女を意識せず適材適所で各人の能力を発揮できるよう応援を続けます。



株式会社アドプランナー
営業部広告運用チーム 課長
三重営業所営業部 課長
高山友梨子 さん

■管理職の女性からのメッセージ

2008年に広告代理店の営業職として新卒入社し、中小企業から上場企業まで地元企業の採用を中心に携わっています。21年に出産し翌年復職、23年からは営業と新体制構築のための内勤組織のマネージャーを兼任しています。

仕事と家庭、どちらも2大方針は、①重点主義に基づく優先順位づけ、②周囲との協働とコミュニケーション。これは仕事をしてきた中で持続可能な成果主義に私が重要だと感じているポイントです。特に出産後は仕事だけに時間も体力も使えなくなり、今まで以上に①を重視し、特に家庭の目標『娘が心身共に健康に育つ』に対して“緊急ではなく重要でないこと”はほぼ捨てています(笑)。

ライフステージや置かれている状況によって、自身の価値観も理想のライフワークバランスも変化します。育児と仕事の両立にチャレンジするメンバーに対して、どう環境や理想が変化したとしても、今の仕事や役割、挑戦に本気で取り組んで、成功や失敗した経験が自分を助けてくれるということを伝えていきたいと思います。

愛知県信用保証協会は女性経営者のみなさまを応援しています！

愛知県信用保証協会は、女性経営者支援チーム「アイリス」で、これから創業をお考えの女性や女性経営者、女性を主な顧客とする事業の経営者のみなさまをサポートしています！

「女性経営者・女性起業家のための無料個別相談会」を開催します！

女性の司法書士、公認会計士、税理士と日本政策金融公庫、愛知県信用保証協会職員を主なメンバーとする「からふる女性応援士隊」に、登記や会計、資金調達についてご相談いただけます。

日時：令和7年9月6日（土）10時から14時45分
（各回45分を計4回開催）

会場：愛知県信用保証協会本店 情報・交流ステーション椿
対象：女性経営者、起業をお考えの女性

主催：愛知県信用保証協会

共催：からふる女性応援士隊、公益財団法人あいち男女共同参画財団、日本政策金融公庫

【お問い合わせ先】0120-454-877（愛知県信用保証協会 女性経営者支援チーム「アイリス」）



←詳細・申込はこちら
（申込期限：9月3日（水））



愛知県信用保証協会は、中小企業・小規模事業者のみなさまが金融機関から事業に必要な融資を受けるとき、その保証人となり、借入れをスムーズにする公的機関です。また、事業についてのご相談をお受けしているほか、さまざまな経営支援に取り組み、中小企業・小規模事業者のみなさまをサポートしています。

2025年度あいち女性の活躍促進事業実行委員会事業

「女性管理職養成セミナー ～自分らしいリーダーを目指して～」

受講生募集

企業等における女性管理職の登用を促進するため、「管理職を目指したい」「キャリアアップをしたい」女性を対象にしたセミナーを開催します。

ビジネス現場での実践力を体系的に養うセミナーに、あなたも参加してみませんか。

- ◆ 対面・オンラインの4コース
- ◆ 各月1回(10・11月から／全4回)
- ◆ 県内企業等で働く女性中堅社員対象(職場の推薦が必要)
- ◆ 参加費無料、各コース定員20名

詳細・
お申込みは
こちらから



主 催／あいち女性の活躍促進事業実行委員会【構成団体】愛知県、公益財団法人あいち男女共同参画財団、愛知県経営者協会



情報ライブラリー Book Cafe



今回のおすすめメニュー 「映画と生きる女性たち」

監督、スクリプター、インティマシー・コーディネーター、そして観客として…いろいろな形で映画と関わる女性たち。映画の魅力に取りつかれ、映画とともに生きてきた女性たちが、映画について熱く語ります。

『女になれない職業』

浜野佐知／著
(ころから)



ピンク映画に始まり300本以上の映画を監督・制作してきた著者。女性には門前払いだった時代の映画界で、何が何でも監督になるという決意を持って闘ってきた剥き出しの記録です。あいち国際女性映画祭はじめ、東京国際女性映画祭やクレティユ国際女性映画祭など、世界のさまざまな映画祭に参加してきた貴重なエピソードも豊富で、とにかく浜野監督のパワーに圧倒されます。

『完本天気待ち』

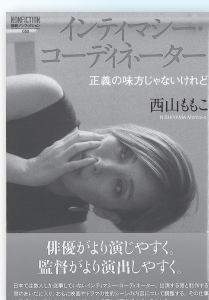
野上照代／著
(草思社)



『羅生門』でスクリプターとして初参加し、『生きる』から『まあだだよ』まで全ての黒澤映画に携わった著者によって、制作秘話が語られます。監督・黒澤明や俳優・三船敏郎、仲代達也など、日本映画の重鎮たちの若さみなぎる青春記としても楽しめます。「撮影中の天気待ちは楽しい」という一節に見られるように、野上さんの映画愛・クロサワ愛を存分に味わえます。

『インティマシー・コーディネーター』

西山ももこ／著
(論創社)

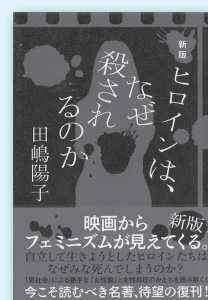


映画やドラマの性的なシーンに立ち会い、制作者と出演者の調整役を担うインティマシー・コーディネーター。これまで存在しなかったこの職業に従事する著者が、その仕事の詳細や将来を語ります。「正義の味方じゃない」と言いながら、制作現場で起きる不均衡なパワーバランスをフラットにしようと尽力する西山さん。

新しい職業だけに、先駆者としての気概を感じます。

『ヒロインは、なぜ殺されるのか 新版』

田嶋陽子／著
(KADOKAWA)



日本一有名なフェミニストによる映画評。愛か仕事かの二者択一を迫られた『赤い靴』の踊り子、自己犠牲からの脱却を図った『愛と追憶の日々』の専業主婦など、映画の中で死んでしまうヒロインをジェンダーの視点で読み解きます。病や事故、自殺など映画の中で“殺される”女性たち…なぜ死ななければならなかったのかを鋭く分析し、こんな見方があるのか!と目からうろこの一冊です。

紹介した図書はすべて情報ライブラリーで貸出しています。



問合せ先

ウィルあいち情報ライブラリー
電話 052-962-2510



ウィル おじさん



編集後記

今号の作成にご協力をいただいた方々にお礼申し上げます。特集は「あいち国際女性映画祭2025」の見所について、ディレクターの木全純治氏にお話を伺いました。おかげさまで当映画祭は今年で30回の節目を迎えます。これからも女性の視点と声を届ける場であり続けたいです。今年もご来場をお待ちしております。また、映画祭のInstagramアカウント(@aiwff_dks)を開設しましたので、X(@aiwff)と併せてぜひフォローしてください。



Instagram
@aiwff_dks



X
@aiwff

愛知県女性総合センター（ウィルあいち）のご案内

開館時間 9:00 ~ 21:00

■情報ライブラリー利用時間 9:00 ~ 19:00

※改修工事に伴い、2025年8月31日(日)(予定)まで、施設利用を休止しております。

休館日 年末年始(12月29日~1月3日)、施設点検日(年10回程度)

■情報ライブラリー休業日

上記のほか、毎週月曜日(祝日の場合は、翌日も休業)、祝日(土日は除く)、整理期間

所在地 〒461-0016 名古屋市東区上笠杉町1番地

問合せ先 <https://www.will.pref.aichi.jp/>

■施設利用受付 指定管理者 コンブレ・愛知グループ
(ホール・会議室・宿泊室)

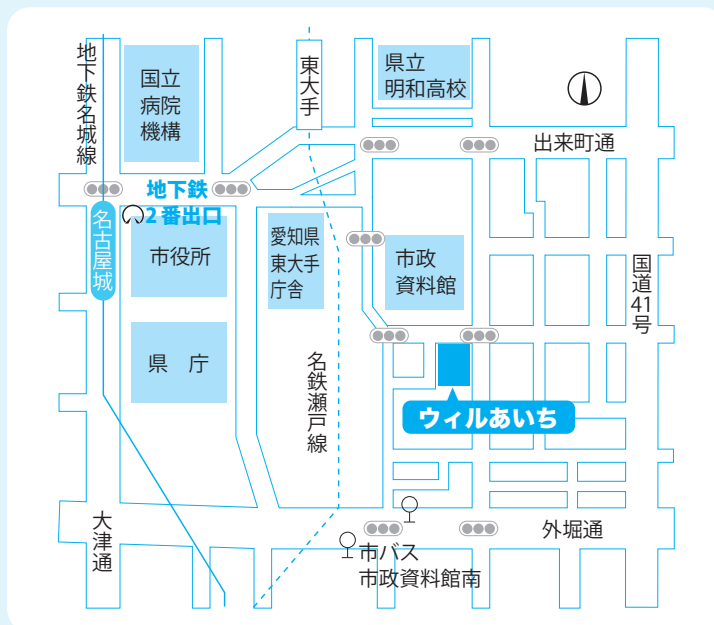
電話 052-962-2511

■情報ライブラリー

電話 052-962-2510

【交通のご案内】

- 地下鉄名城線「名古屋城」駅2番出口から東へ徒歩約10分
- 名鉄瀬戸線「東大手」駅南へ徒歩約8分
- 基幹バス、名鉄バス「市役所」下車、東へ徒歩約10分
- 市バス幹名駅1「市政資料館南」下車、北へ徒歩約5分
- 駐車台数に限りがありますので、公共交通機関の利用にご協力ください。
(駐車場有料)



ウィルプラス No.107 2025

編集・発行 公益財団法人 あいち男女共同参画財団
住所 〒461-0016 名古屋市東区上笠杉町1番地
(愛知県女性総合センター内)
電話 052-962-2512 (企画協働課)
FAX 052-962-2477
財団HP <https://www.aichi-dks.or.jp>
発行 2025年7月(年2回/次号:2026年3月発行予定)

